

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

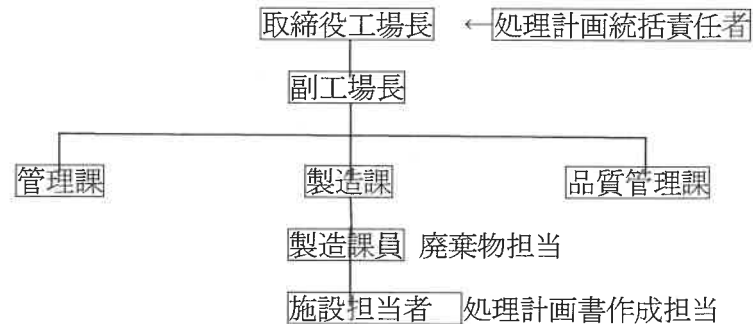
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 28 日	
千葉県知事 熊谷 俊人 殿	
	提出者 住 所 流山市おおたかの森西三丁目440番地 氏 名 株式会社エスシー・プレコン本社工場 取締役工場長 川辺 秀治 電話番号 04-7158-3101
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社エスシー・プレコン本社工場
事業場の所在地	千葉県流山市おおたかの森西三丁目440番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業 中分類：窯業・土石製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品売上高 54.8億円
③従業員数	62名（正社員62名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	高強度コンクリートくず	全体
	排出量	1,629.6 t	4,162.911 t
	高速道路床板の新規事業の試験の為、高強度コンクリートくずが令和4年度934.5t→令和5年度1,629.6tと増加。高強度以外のコンクリートくずが令和4年度3,170 t→令和5年度2,470tと減少。汚泥が令和4年度36t→令和5年度57.2tと増加。木くずが令和4年度5.95t→令和5年度1.52tと減少。廃プラスチック類が令和4年度5.54t→令和5年度4.491tと減少。ガラス・陶磁器くずが0.1t発生した。総排出量令和4年度4,151.99t→令和5年度4,162.911tと増加した。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	全体	
	排出量	4,162.911 t	
	コンクリート製品製作時に発生する、余りコンクリートを少なくするために、生産管理担当者による必要コンクリートm3数の再計算を行い、余りコンクリートを減少させる。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	高強度及び高強度以外のコンクリートくず：破砕機(ブレイカー)にて人頭大以下の高強度及び高強度以外のコンクリートくずと鉄筋等金属とに破砕分類し、高強度コンクリートくずは再生砕石としての再利用が出来ないので、埋立処分を致します。高強度以外のコンクリートくずは、再生砕石として再利用しています。鉄筋等金属は有価物としてスクラップ材再生をしています。
② 計画	引き続き、破砕機(ブレイカー)にて人頭大以下の高強度及び高強度以外のコンクリートくずと鉄筋等金属とに破砕分類し、高強度コンクリートくずは再生砕石としての再利用が出来ないので、埋立処分を致します。高強度以外のコンクリートくずは、再生砕石として再利用します。鉄筋等金属は有価物としてスクラップ材再生をします。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	高強度コンクリートくず/高強度以外のコンクリートくず/汚泥/木くず/廃プラスチック類/がれき類	
	全処理委託量	4,162.911 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1629.600 t	t
	再生利用業者への処理委託量	2533.311 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	高強度コンクリートくずは再生砕石としての再利用が出来ないので、埋立処分を致します。高強度以外のコンクリートくずは、再生砕石として再利用しています。汚泥/木くず/廃プラスチック類/がれき類も中間処理場による再生を行います。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	高強度コンクリートくず/高強度以外のコンクリートくず/汚泥/廃プラスチック類	
	全処理委託量	4,162.911 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1629.600 t	t
	再生利用業者への処理委託量	2533.311 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	現状と同じく、高強度コンクリートくずは再生砕石としての再利用が出来ないので、埋立処分を致します。高強度以外のコンクリートくずは、再生砕石として再利用しています。汚泥/木くず/廃プラスチック類/がれき類も中間処理場による再生を行います。		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートガラ:破砕機(ブレーカー)にて廃棄製品をコンクリートガラと鉄筋等金属とに破砕分類し、コンクリートガラは再生砕石に加工できるように人頭大以下に破砕し、鉄筋等金属は有価物としてスクラップ材再生をしています。鋼繊維入りの高強度コンクリートガラは再生砕石としての再利用が出来ないので、埋立処分を致します。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、破砕機(ブレーカー)にて廃棄製品をコンクリートガラと鉄筋等金属とに破砕分類し、コンクリートガラは再生砕石に加工できるように人頭大以下に破砕し、鉄筋等金属は有価物としてスクラップ材再生をします。鋼繊維入りの高強度コンクリートガラは再生砕石としての再利用が出来ないので、埋立処分を致します。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項											
①現状	【前年度(令和5年度)実績】										
	産業廃棄物の種類	高強度コンクリートくず	コンクリートくず	汚泥	金属くず	木くず	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	廃油	混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 製造工程で生じる木パレット・プラスチックパレット(タイル・石材・埋込金物搬入)は搬入業者に次回搬入時に引き取らせています。										
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	高強度コンクリートくず	コンクリートくず	汚泥	金属くず	木くず	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	廃油	混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、製造工程で生じる木パレット・プラスチックパレット(タイル・石材・埋込金物搬入)は搬入業者に次回搬入時に引き取らせてます。										

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
①現状	【前年度(令和5年度)実績】										
	産業廃棄物の種類	高強度コンクリートくず	コンクリートくず	汚泥	金属くず	木くず	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	廃油	混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(これまでに実施した取組) なし。										
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	高強度コンクリートくず	コンクリートくず	汚泥	金属くず	木くず	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	廃油	混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) なし。										

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項											
①現状	【前年度(令和5年度)実績】										
	産業廃棄物の種類	高強度コンクリートくず	コンクリートくず	汚泥	金属くず	木くず	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	廃油	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(これまでに実施した取組)										
	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。										
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	高強度コンクリートくず	コンクリートくず	汚泥	金属くず	木くず	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	廃油	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(今後実施する予定の取組)										
	引き続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。										

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和5年度)実績】

[illegible]

(これまでに実施した取組)

鋼繊維入りの高強度コンクリートガラを除き、100%再生利用できる処理業者への委託を行っています。

	【目標】	
--	------	--

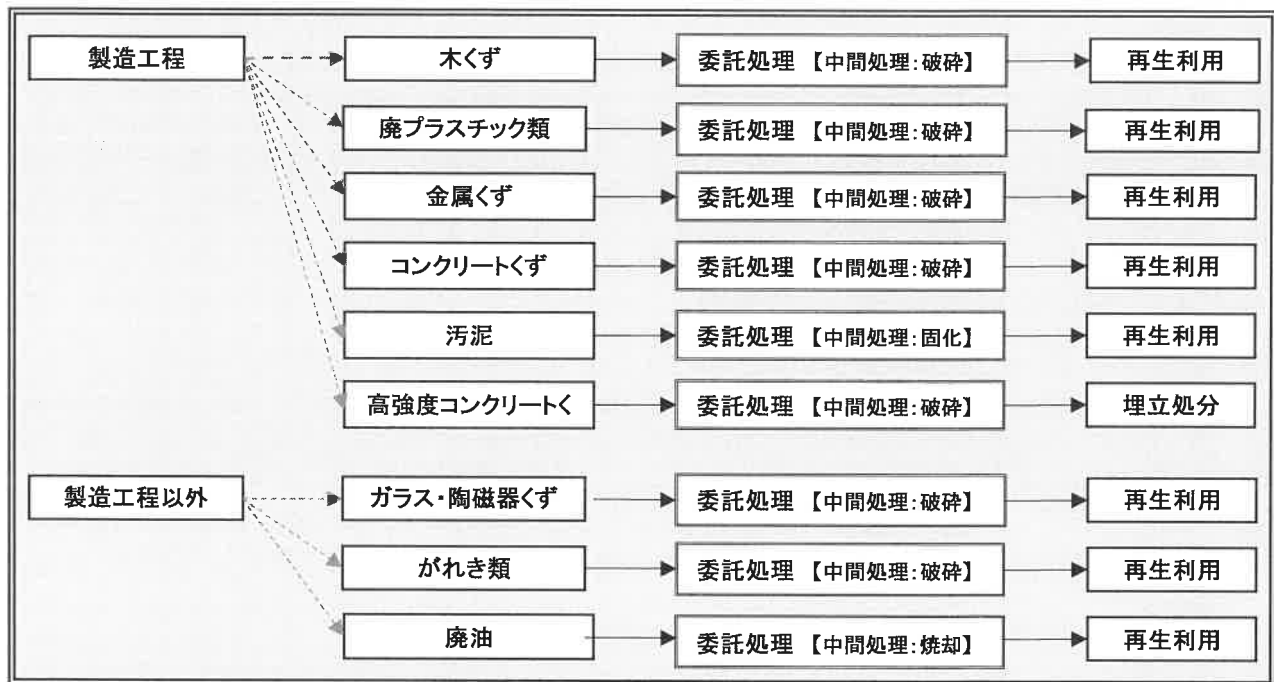
[illegible]

(今後実施する予定の取組)

今迄通り、鋼繊維入りの高強度コンクリートガラを除き、100%再生利用できる処理業者への委託を目指します。

産業廃棄物処理計画書

書面内項目 ④産業廃棄物の一連の処理工程



株式会社エスシー・プレコン

産業廃棄物排出量の推移

	高強度コンクリートくず	高強度以外のコンクリートくず	汚泥	金属くず	木くず	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず	がれき類	廃油	混合廃棄物	合計
平成28年度実績	42.000 t	3,210.000 t	112.200 t	0.720 t	16.375 t	11.870 t	0.060 t	2.000 t	1.590 t		3,396.815 t
平成29年度目標	42.000 t	3,020.220 t	112.200 t	0.720 t	16.375 t	11.870 t	0.060 t	2.000 t	1.590 t		3,207.035 t
平成29年度実績	140.00t	2,380.000 t	132.000 t	0.000 t	0.000 t	10.781 t	0.000 t	0.160 t	0.228 t	7.000 t	2,530.169 t
平成30年度目標	140.00t	2,889.000 t	132.000 t	0.000 t	0.000 t	10.781 t	0.000 t	0.160 t	0.228 t	7.000 t	3,039.169 t
平成30年度実績	259.000 t	2,680.000 t	324.000 t	0.000 t	7.008 t	12.860 t	0.000 t	0.000 t	0.212 t	0.000 t	3,283.080 t
平成31年(令和元年度)目標	259.000 t	2,680.000 t	110.920 t	0.000 t	7.008 t	12.860 t	0.000 t	0.000 t	0.212 t	0.000 t	3,070.000 t
平成31年(令和元年度)実績	310.000 t	4,090.000 t	118.800 t	0.000 t	18.780 t	12.420 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,550.000 t
令和2年度目標	310.000 t	4,090.000 t	118.800 t	0.000 t	18.800 t	12.400 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,550.000 t
令和2年度実績	315.000 t	3,640.000 t	151.800 t	0.000 t	3.560 t	10.140 t	0.000 t	0.008 t	0.000 t	0.000 t	4,120.508 t
令和3年度目標	315.000 t	4,019.500 t	151.800 t	0.000 t	3.560 t	10.140 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,500.000 t
令和3年度実績	747.500 t	3,393.200 t	44.600 t	0.000 t	0.000 t	3.480 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,188.780 t
令和4年度目標	747.500 t	3,393.200 t	44.600 t	0.000 t	0.000 t	3.480 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,188.780 t
令和4年度実績	934.500 t	3,170.000 t	36.000 t	0.000 t	5.950 t	5.540 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,151.990 t
令和5年度目標	934.500 t	3,170.000 t	36.000 t	0.000 t	5.950 t	5.540 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,151.990 t
令和5年度実績	1,629.600 t	2,470.000 t	57.200 t	0.000 t	1.520 t	4.491 t	0.100 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,162.911 t
令和6年度目標	1,629.600 t	2,470.000 t	57.200 t	0.000 t	1.520 t	4.491 t	0.100 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,162.911 t